

八学大 一部定員減

26年度 3学部3学科に再編

学校法人光星学院（法官新一理事長）は23日、八戸学院大（小林眞学長）と八戸学院短期大学部（杉山幸子学長）の2026年4月からの改組再編について発表した。再編に伴い一部の定員を減らす。

両校の改組再編については2023年度に検討会議

を設置し、昨年7月に構想案を公表。文部科学省との協議や届け出手続きを進めてきた。大学は現行の2学部3学科から▽地域共創学部▽人間健康科学部▽看護学部1の3学部3学科に再編する。看護学部は、健康医療学部の一学科である看護学



科を独立、昇格し新設。定員は70人で、現在の80人か

学部、学科の再編について説明する小林眞学長（左）と杉山幸子学長。23日、八戸市

から70人に減員。介護福祉学科についても、定員を40人から25人に減らす。

大学での記者会見で小林学長は「今回の改組再編を、大学が地域のまちづくりの核として、地域の発展に貢献していくという一つのメッセージとした」と強調。杉山学長は「従来通り幼児についての学びをベースとして、児童の教育にも貢献できる人材を育てていきたい」と述べた。

（向屋敷萌）